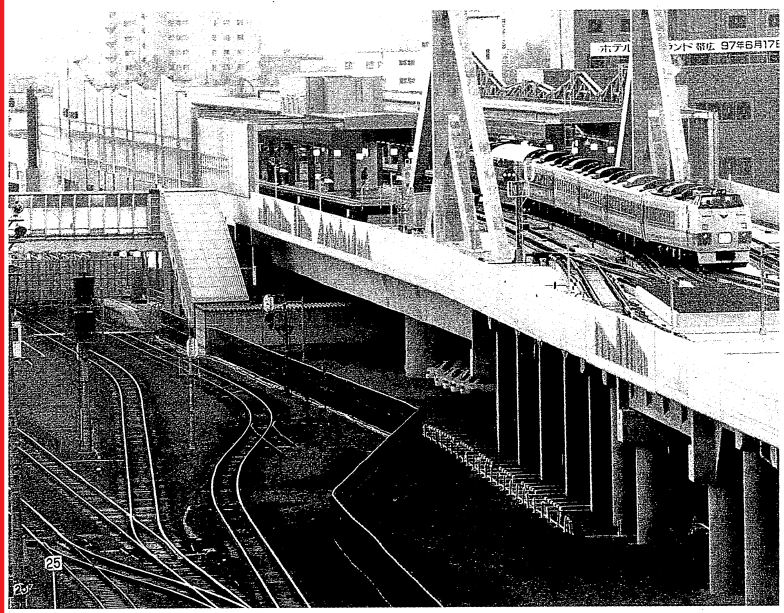
高架開通、晴れやかに1番列車

延長6・25キロ、総事業費280億円を投入



新駅舎も同時に開業

出発式など祝賀ムード一色

足かけ5年

朝焼けの中をゆっくりと高架新駅を後にする上り1番列車「スーパーとかち2号」。下は在来線午前9時42分。撮影＝山下徹

【政経部＝来次一郎】JR根室本線の帯広市街地立体交差（鉄道高架）が二十四日、開通した。新しい帯広駅舎も同時に開業、西帯広貨物ヤード（西二八条）から札内川（東一〇条）を結ぶ高架橋の延長は六・二五キロで、足かけ五年の歳月と約二百八十億円の総事業費を投入した一大プロジェクトの完成。都市交通の円滑化や市街地の一体的な開発など関連事業と合わせて大きな波及効果が期待される。午前中から記念式典やイベントが相次いで開かれ、駅を中心として高架完成の祝賀ムードに一色に包まれた。

（3、18、19面に関連記事）

市街地一体開発へ　大きな波及効果に期待

鉄道高架は道が事業主体となり、JR北海道と帯広市の協力で進められてきた。踏切での慢性的な渋滞緩和や、交差道路の新設など交通アクセスの円滑化が図られる。また、来年度から駅北側で本格化する区画整理事業や、地下駐車場、多目的広場などと公共施設の連携とから号が午前六時四十二分、帯広駅を後にした。

二分、帯広駅を発した。

午前8時半から帯広駅の新商業施設「エスタ帯広」の披露式、同九時五十分から駅舎つなぎ工事が行われ、同十時半から駅前広場で「一条通」の通行止めとなり、「東一条通」が大通り回路となる。また、駅披露式が相次いで開かれた。それぞれ主催者と来賓があいさつ、テープカット、くす玉割りなどが行われ、列車の発車や施設の完成を祝った。

また、「高架完成記念式典」は午前十一時半から十勝プラザで開催。西村博司副知事が「高架の開通は交通の利便性、活力あるまちづくりに大きく寄与する。二十一世紀に向けた帯広の発展を期待したい」と式辞を述べ、祝賀会で高橋幹夫市長は「高架の完成で、まちづくりの骨格となる基盤が整備された。全国に誇れるまちづくりを進めたい」とあいさつした。この日から「旧駅舎を中心にさまざまな催しや振り子式列車の臨時運行、新旧駅舎を結ぶキャンドルが灯されるなど、高架開通の歴史的な一日を大勢の市民で祝った。

大通こ線橋仮橋が27日から通行止め

二十四日の鉄道高架開通に伴い、国道236号の大通こ線橋の二回路の仮橋が二十七日午前六時から通行止めとなり、東一条通が大通り回路となる。また、一条通の切り替えに伴い、東一条通りは二十七日午前八時から二十七日午前六時まで通行止めとなる。

駅披露式でテープカットする大森義弘JR北海道帯広支社長、中川昭一代議士、鈴木宗男代議士、松本修北海道運輸局長、西村博司副知事、坂本眞一JR北海道社長（左から）。後列はくす玉を割る川上直平帯商会頭、中川義雄道議会議長ら

季節割引運賃実施中　6月30日まで
全等級及びマイカー
帯小牧　仙台 15%OFF　名古屋 35%OFF
太平洋フェリー　〒060 札幌市中央区北4条西4丁目 札幌日鉄ビル3階　☎(011)281-3311

1月に防災イベント

阪神大震災に合わせて　17日から3日間

防災グッズも即売し展示

【政経部＝原知寿子】一昨年一月十七日の阪神・淡路大震災に合わせて、帯広市は災害時の三日間、広市は災害時の三日間、とかちプラザまでの三日間、とかちプラザを会場に防災イベントを実施する。関係企業、団体と連携し、各種防災グッズを展示・即売するほか、関係者らによるパネルディスカッションなどを予定。市民の自主防災への意識高揚を図る。

国土庁では昨年から同日を、「ボランティアの日」、翌後一週間を「ボランティア週間」と設定。各自治体に住民の防災意識の啓発促進を呼び掛けているとともに、企画した。各家庭、地域ぐるみでの自主防災組織の支援と高齢者、障害者など弱者対応の防災を柱に、ラスパイレス指数は国家公務員の給与を100とした地方公務員の給与水準。帯広市の二九八〇年度の指数は107・2で、高い数字になっていた。ところが、最近公表された指数は101・6で、前年度100・3よりも0・7減少した。

道内では、札幌104・1、千歳103・2、旭川102・8、富良野102・7、北見102・6、苫小牧102・1、美唄100・7、名寄101・9に次いで一番目。

市ラスパイレス指数

昨年度は全道32市中10番目

【政経部＝小野寺祐】地方公務員の給与水準を示すラスパイレス指数は昨年度、帯広市の場合100を切る見込みとなった。

会場では炊き出し食や家具の転倒防止器具など、主に家庭で行う。

市民や関係者によるパネルディスカッションを行い、自主防災ネットワークの構築を考える。

コンピューターで新聞製作

本社新CTSが本格稼働

十勝毎日新聞社は最新鋭コンピューターによる新聞製作「電子編集システム」（CTS＝Computerized Type Setting system）を目指して準備を進めてきましたが、二十四日午前0時過ぎから全面移行しました。コンピューターで記事、写真などの出稿から組版、出力までをオンライン処理するトータルシステムで、道内の地域紙では初めての導入です。

本社は一九七九年（昭和五十四年）に紙面の全面写植・組版システムへ移行、九〇年（平成二年）には記事の完全ワープロ入力を実施するなど、着々と制作システムの近代化を進めてきましたが、今回のCTS導入はコンピューター化の集大成です。スピーディーでのビジュアルな紙面作りで読者のニーズに合った、ニュースを、より早く正確に届けることが可能になりました。

本社ではCTS完成に、グループ企業であるケーブルテレビ局の帯広シティーケーブル（CCTV）やコミュニティFM局のエフエムびろ（FMJAGA）を連動させ、さらにはインターネットなどのマルチメディア事業を展開しており、既存のCTSの枠を乗り越えた取り組みを目指しています。なお今回のシステムは「Publishing Of Tokachimainichi Advanced Total Operation」と名付けられ、愛称は、この頭文字をつなげて「POTATO＝ポテト」としました。

新CTSの始動ボタンを押す林光繁本社社長

時候の挨拶

編集余録

秋口から年の瀬までの時候のあいさつを列挙していくと、わずか数カ月のこの短い期間に季節が急激に変化している様子が見てとれる。その変わり身の早さといったら、男性としてはいらだつがいい▼コスモスの淡いピンクの花が、風に揺れるようになりました。暑さ寒さも彼岸まで、とか、肌に感じる風もわやかにの季節ならいざしも一雨ごとに秋気も増してまいりました、ずかな秋の気配を感じとれるだけでなく、鮮やかな紅葉の美しさをめでる毎日です。灯火親しの夜、秋の夜長を心ゆくまで楽しんでおります。朝夕の肌寒さにホッとするこのごろです（十月）▼暖かい春日和が続いています。秋の日はつるべ落としといいますが、晩秋は日照不足と異常低温に悩まされたものの「収穫の秋」を迎えました。秋の味覚の美しさをめでる毎日です。灯火親しの夜、秋の夜長を心ゆくまで楽しんでおります。朝夕の肌寒さにホッとするこのごろです（十月）▼暖かい春日和が続いています。秋の日はつるべ落としといいますが、晩秋は日照不足と異常低温に悩まされたものの「収穫の秋」を迎えました。秋の味覚の美しさをめでる毎日です。灯火親しの夜、秋の夜長を心ゆくまで楽しんでおります。朝夕の肌寒さにホッとするこのごろです（十月）▼暖かい小